

減らそう犯罪通信

～令和7(2025)年12月号～

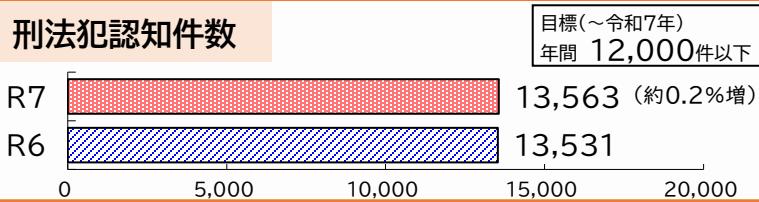


統計

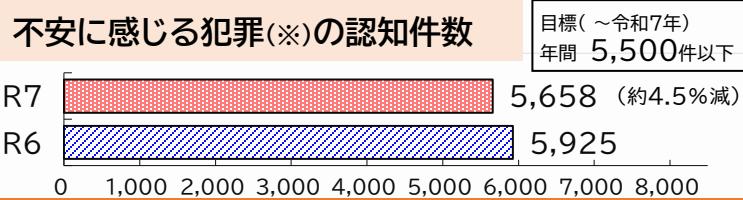
広島県内の犯罪の発生状況

令和7年(1月～11月)※暫定値

刑法犯認知件数

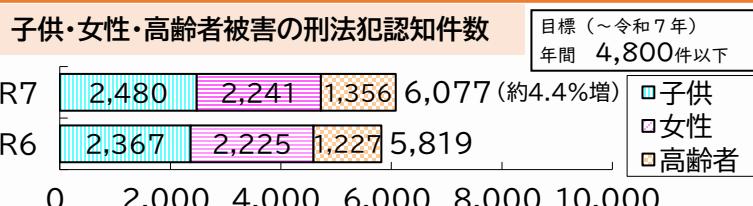


不安に感じる犯罪(※)の認知件数



※「不安に感じる犯罪」とは、自転車盗、車上ねらい、器物損壊等、侵入強盗、侵入窃盗、住居侵入、不同意性交等、不同意わいせつの8罪種です。

子供・女性・高齢者被害の刑法犯認知件数



特殊詐欺等の認知件数及び被害額

R7

認知件数 758件 (約31%増)
被害額 約54億5,382万円 (約38%増)

R6

認知件数 580件
被害額 約39億6,202万円



(R7 内訳)

- 特殊詐欺
認知件数:420件、被害額:約22億3,517万円
- SNS型投資詐欺及びSNS型ロマンス詐欺
認知件数:338件、被害額:約32億1,865万円

注目!



まちの防犯ボランティア



山県郡

山県警察署管内 少年補導協助員連絡協議会

上記協議会は昭和37年から活動しており、少年非行防止のため、登下校時の見守り活動を行っています。今年度は「とよひらそばまつり」で薬物の影響や危険性などの広報啓発活動を実施しました。



庄原市

庄原警察署管内 少年補導協助員連絡協議会

上記協議会は昭和37年から活動しており、小中学校の通学路での見守り挨拶活動をはじめ、「こどもまつり」では、ブースを設けて児童虐待防止の広報をするなど地域に密着した活動を実施しています。

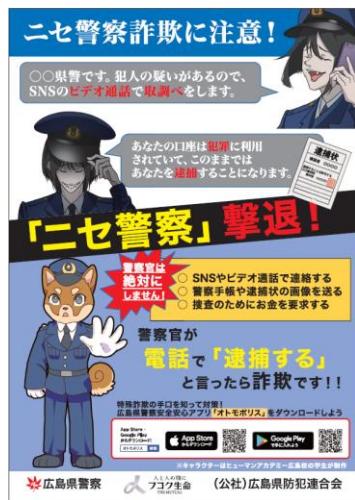


特殊詐欺被害防止啓発に関する寄贈式について

富国生命保険相互会社広島支社から、特殊詐欺やSNS型詐欺の啓発のため注意喚起のチラシ2万2千枚とポケットティッシュ1万3千個が県警に贈られました。チラシはA4判で、表面は警察官をかたって捜査等の名目で送金させる「オレオレ詐欺」の手口を紹介。裏面ではSNS型の投資等の手口を分かりやすく掲載しています。小塩支社長からは「被害防止のバックアップとして役立てば」とのコメントがありました。



【右側が小塩支社長、左側が土肥生活安全部長】



【チラシの表面】



【チラシの裏面】

特殊詐欺等被害防止キャンペーンについて

県警は、特殊詐欺被害を防ぐため、錯視効果で文字やイラストが立体的に見える「錯視シート」を作成し、12月8日、ゆめタウン広島で「詐欺警戒中！トリックアートで特殊詐欺等被害防止キャンペーン」を開催しました。

キャンペーンでは、特殊詐欺被害防止ポスター・チラシに登場したイズミメイフルレッズ広島の選手4名が参加し、広島銀行皆実町支店ゆめタウン広島出張所のATM前で錯視シートを設置したほか、選手や広島銀行の職員の皆様が来店客に対し啓発物を配布しながら、詐欺被害防止の呼びかけを行い、大きな反響がありました。



【広島銀行皆実町支店での様子】



【錯視シート】



【啓発物配布の様子】